

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【161】
2. 日時：令和4年4月27日 10時00分～12時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、  
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他6名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書等）について、令和4年4月21日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【制御棒・破損燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書】

- サポート部材の応力評価に関し、サポートのプレート部に係る耐震評価及び裕度について説明すること。

【使用済燃料貯蔵ラックの耐震性についての計算書】

- 使用済燃料貯蔵ラックの解析モデルについて、解析モデルにおける溶接部の扱いが実機と異なる条件となっているため、解析モデルの妥当性について説明すること。
- ラックの振動モード図が、一般的な下端固定の片持ちはりの振動モード形状になっていない理由について、ラックの構造も踏まえて説明すること。

○ 使用済燃料貯蔵ラックの固有値解析について、SA 時の温度条件でも剛構造となるのか説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

提出資料：

なし